本では、

、およそ

しかし

、治療を続けながら働くという選択肢を選ぶ人が増えています。

これまでは治療に専念す

るため、

仕事

事を辞めざるを得ないかかるといわれてい

い場合もありないるがん。

治療を両立させる働き方の

安心して働ける環境づくりを目指し、さまざまな施策に取り組んでいます そうしたなか、JALグループでは、全社員が仕事とがん治療を両立しながら

復帰支援の流れ

病気休業開始… 休業中のケア (メールや電話などによる近況把握・激励) 主治医による復帰可能の判断… 復帰意思の確認 産業医による復帰可能の判断… 復帰支援プログラムの作成 フォローアップ (産業医面談) … 再発の有無および 復帰支援プランの評価

業務内容に応じた治療と就労の両立支援

客室乗務員の復帰支援プログラム 1~2ヵ月… 乗務時間を50%にし、 近距離線を乗務

-般職の復帰支援プロジェクト・ ●勤務日数 (時間) を8 ~ 9割へ ●残業、出張、夜勤制限など

~ 4 ヵ月… 乗務時間を60%程度にし、 中距離線を乗務 5~6ヵ月… 乗務時間を80%程度にし、

長距離線を乗務



産業医 原 順子

産業医は、上司と社員と三者で相談し適切な就労環境を整えられるよう、きめ細かく対 応しています。

復帰へのきめ細かいサポートを実施しています

また、がんから復帰する社員が増えていますので、社員との面談で「同じ仕事をしてい る先輩から話を聞けた」「他の人の治療法を参考にしてよかった」との声もよく聞きます。 私たち医療職だけでなく、職場全体でサポートする風土を醸成していきます。

社会への啓発活動

JALグループでは、2004年からエスティ ローダー グループが行う乳がん 撲滅に向けたキャンペーンの趣旨に賛同し、その活動に協力しています。

これまでには [ピンクリボンJET] の運航 (2015年3月まで) や、搭乗口で 乳がんキャンペーンを告知する「ピンクリボンフライト」を実施。さらに機内で も広く啓発するためにピンクリボン月間 (毎年10月) には、運航乗務員と客室 乗務員が「ピンクリボンバッジ」、「ピンク色の肩章」を着用しています。

この他にも国内線機内販売の売り上げの一部を一般社団法人 Japan Breast Cancer Research Groupに寄付し、活動を支援しています。

第1回「がんアライ宣言・アワード」で「ゴールド」を受賞

IALグループのがんに関するさまざまな取り組みが評価され、がんを治療しな がら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部*」が創 設した第1回「がんアライ宣言・アワード」で「ゴールド」を受賞しました。 ※がんアライ部 https://www.gan-ally-bu.com/





ピンクリボンフライトの様子

就労支援

JALグループでは、フレックス勤務 制度、在宅勤務制度など時間や場所に とらわれない柔軟な働き方を推進し、 治療と就労を両立しやすい勤務制度 を整えています。また、医療職 (産業医 やカウンセラーなど) によるサポート 体制を充実させ、治癒後には業務内容 に応じた復帰支援プログラムを作成し ています。

予防

「JAL Wellness 2020」の計画のもと、JALグループは健康増進に関する冊 子を作成し、全社員に配布しました。代表的ながんの特徴や食生活、睡眠、運動 における生活改善方法、健診項目の数値に関する理解促進、会社や日本航空健 康保険組合のサポート体制などについて紹介しています。その別冊として2018 年3月には女性社員や希望する男性社員、社員のご家族に「ウィメンズ ヘルス ガイド」を配布しました。

の大きな柱と位置付けています。

女性の健康の五つを取り組み

「就労支援」「社会への啓発活動」の大

生活習慣病、

がん、

メンタルヘルス、

健康診断や医療費の

分析などか

の幸福」の追求には、

当然社員|人|人の

企業理念にある「全社員の物心両面

Wellness

2020」を策定しまし

現するための健康増進計画

「心身の健康づくり」を実17年、JALグループ

健康が不可欠です。

また、以前から職場単位で健康に関する施策を率先して行う「ウェルネスリー ダー」を設置していますが、これに加え、2017年からは副社長が「CWO (Chief

Wellness Officer=健康経営責任者)」を兼任 し、トップダウンとボトムアップによる健康経営 の推進に取り組むことを明確に打ち出しました。 現在、以下の取り組みを進めています。

毎月22日を禁煙デー (スワン・スワンデー) と 定め、出勤時の社員に1日禁煙を呼びかける



事業所内の喫煙所を徐々に閉鎖。2018年5月31日より JALグループ全体で就業時間内禁煙をスタート

> eラーニングでたばこの健康被害や、 乳がん・子宮がんに関する女性の健康について全社員が学習



「JAL Wellness 2020」の取り組みの一環で、 社員と一緒に汗を流す藤田副社長 (CWO)

18歳以上の被保険者・被扶養配偶者に対し、 婦人科健診 (乳房・子宮・卵巣がん検診) の全額費用補助 (上限2万円)

> 「がんを知る展」の社内開催。 がんを自分ごとに捉え、早期発見、治療につなげる

> > 2018年度より定期健康診断の検査項目に、 がんと密接に関係があるピロリ菌の検査項目を追加































